



## 2021年度 日本心臓財団事業計画

日本心臓財団の2021年度の事業計画をお知らせいたします。昨年より続くコロナ禍の中、従来とは違った形になるものもあるかと思いますが、数多くの研究助成をはじめ、できる限りのさまざまな心臓病の予防・治療に対する啓発活動を行っていきます。そしてこれらの活動は皆さまのご支援に支えられております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## I 個人研究に対する助成事業

1. 第47回日本心臓財団研究奨励  
(9月公募予定)
2. 第2回日本心臓財団拡張型心筋症基礎研究助成(1基金)  
(9月公募予定)

## II 研究者の留学費用に対する助成事業

1. 第35回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成  
(10月公募予定)

## III 学会および研究会に対する助成事業

1. 公募助成
  - 1) TOPIC 2021
  - 2) 特発性心室細動研究会
  - 3) その他、審査委員会で承認された循環器関連学会
2. 指定助成・共催
  - 1) 第43回美甘レクチャー(日本循環器学会学術集会特別招聘講演)
  - 2) 日本心臓財団シンポジウム(日本循環器学会学術集会)
  - 3) 第33回日本循環器病予防セミナー

## IV 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究
2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究
3. 心不全に関する研究
4. 弁膜症に関する研究
5. その他

## V 指定研究等の実施・助成事業

1. 予防医学のための家庭心電計普及活動

## VI 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第47回日本心臓財団佐藤賞
2. 第46回日本心臓財団草野賞
3. 第36回日本心臓財団予防賞
4. 第17回日本心臓財団小林太刀夫賞
5. 第10回「心臓」賞
6. 第2回日本心臓財団・日本循環器学会矢崎義雄奨励賞

## VII 広報啓発事業

1. インターネット・メディアによる啓発活動
2. 日本循環器学会・日本循環器病予防学会・日本高血圧協会との協力事業  
市民公開講座の開催(共催:日本循環器学会・日本循環器病予防学会)  
「世界高血圧の日」市民公開講座の開催
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「健康ハートの日」活動
5. 禁煙推進活動
6. AED・心肺蘇生普及活動
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催
8. 患者団体・予防活動団体への協力
9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. 月刊誌「心臓」の発行(日本循環器学会との共同発行)
11. 機関紙「季報」の発行
12. その他の啓発活動



## ドクターうえしまの弁膜症手術体験記

上島 弘嗣(滋賀医科大学名誉教授)

### 心臓止めて生還

私は次のような文章を、退院した後に書いた。もう手術に立ち向かわなくてよいのが嘘のような気分の時である。いつも私の前に立ちはだかっていた大きな壁がなくなっていた。そして、正に「生きている」という実感とあふれる感謝を抱いている。大好きであった山奥の温泉の露天風呂に、解放されてゆったりと浸かっている気分であった。そして、時はゆっくりと流れていた。

臨死体験というのがあるが、小学3年生の孫から、「おじいちゃん、心臓止めて手術するのか、死なんといてな」と言われ、大丈夫と安請け合いました。「心臓止めたなら天使みたいに羽が生えて、ピコピコと飛ぶのと違うか」「そうになったら、あとで教えてな」「わかった」。



大動脈弁の置換術を受ける決心がついたのは、昨年の秋である。怖気ついて、コロナにかこつけ、一年近く伸ばしていたが、ようやく心も定まり、立ち向かう気力を得た。

心臓外科外来を年明け早々に受診して、いつ受けますか、今から2週間目以降ならいつでも可能ですと言われ、待機患者の多くないのを知りびっくりした。

手術を受けたのは1月末であった。不安感があったので、年賀状はじめ、ショートメールなどを使い、あちこちに、手術を受けますと連絡していた。術後の状況もショートメールで報告した。このような行動は、不安感や恐れを分散させるためであった。心が落ち着く意見や助言、物語などを色々と多くの人が寄せてくれた。祈ってくださった方も何人かおられた。それにより、病気と立ち向かう気力を得たといっても過言でない。

無事退院して孫に言った。「羽が生えてピコピコと飛ばなかったわ」「でも元気にしてるよ」

五年に牛さんの弁をもらい、新しい命をいただいた。この弁、二十年近く持つらしい。私の寿命よりも長いと思われる。百歳近くまで生きられる自信はないが、健康に気を付けて、新しい命を生きたい。

### 原因不明の病気に罹る

私は、高校3年生のとき、原因不明のリウマチ性の病気に罹った。高熱、血便を伴う下痢、全身の関節腫脹と耐えられないほどの痛みで苦しんだ。60年ほど前である。戸板に載せられて日赤に入院した。医学生になってから病名が判明したが、ライター症候群という、その当時、わが国では殆ど知られていなかった原因不明の疾患であった。

その後、3-4年ごとに下痢から始まり強いリウマチ性の

関節炎が繰り返し生じた。いつも収まるのに三か月を要した。しかし、40歳ころから、下痢が始まった段階で経口カナマイシンを服用するようになり、強い全身症状を伴うリウマチ性の関節炎は生じなくなった。これは、カナマイシンにより、腸内の細菌が整えられ、異常な免疫反応を未然に防ぐことができたからかもしれない。

### 弁膜症の発見

ライター症候群の合併症として、大動脈弁の障害が起こる可能性はあったが、45歳ころまではそのような症状はなかった。ところが、ある時(1993年ころ)、聴診器を胸にあててびっくりした。なんと、大動脈弁閉鎖不全症の雑音、弁から血液が逆流する音が聞こえるではないか。その後、滋賀医科大学の循環器内科で1年に一回、心エコーによる検査と診察とで経過観察することとなった(表1)。

大動脈弁閉鎖不全症は大動脈弁狭窄症に比して、心機能低下は長期間起こりにくいですが、一旦機能低下を起こすと手術

表1 大動脈弁閉鎖不全症の特徴と患者の心得

1. 逆流の程度にもよるが、比較的長期間、動悸、息切れ等の症状がないことが多い。
2. 手術の時期を見逃すと、術後の機能回復が十全ではない場合がある。
3. 大動脈弁狭窄症と異なり、開胸による弁置換術が必要になる場合がある。  
(大動脈狭窄症には開胸せずに経皮的にカテーテルで弁を入れることが可能に)
4. 専門医による経過観察が必要である。

表2 人工弁の種類と特徴

| 人工弁の種類 | 利点                         | 弱点                   |
|--------|----------------------------|----------------------|
| 機械弁    | 耐久性がある、一生持つ<br>(若い人に適している) | 抗凝固薬を一生服用            |
| 生体弁    | 抗凝固薬は3か月程度<br>(高齢者に適している)  | 耐久性に劣る<br>(10年から20年) |

をしなくても回復が難しいことがあると記されている。したがって、自覚症状の乏しい分、手術の時期を見逃さないように注意深い経過観察が必要なのである。しかし、普段はいたって元気である。走りさえしなければ、障害を苦にするようなことは生じなかった。

## 経過観察の継続

20年くらい前、オーストラリアのシドニーで会議中にめまい発作を起こした。1週間入院して帰国し、そのまま、伊丹空港から国立循環器病研究センター(国循)の脳卒中ケアユニットに入院した。この時、弁から血栓が飛んで脳塞栓を起こした可能性を疑われ、ヘパリンの注射をしながら帰国した。幸い、脳卒中ではなかった。しかし、薬物性肝炎を起こしていた。

それ以来、国循の外来で弁膜症の経過を見ることとなり、年1回の心エコーの検査と診察は、その後、逆流の程度が中等度以上のため、いつからか年2回の検査と受診に変わった。年を経るごとに、心臓が拡大し、心負荷が増していた。

重要なのは、手術の時期を見逃さないことである。患者からすると、心臓手術に対する漠然とした不安は大きい。手術による事故の確率はゼロではない。あれこれ考えてしまう。

70歳まで手術しなくてよければ、弁の置換は人工材料から作られている機械弁でなく、豚や牛の生体弁が使用できるとのことであった(表2)。この違いは、機械弁は長持ちするので、70歳までの若い患者さんに主に使われるが、弁に血栓が付着するのを防ぐために、血液の凝固時間を延長するワーファリンを一生服用しなければならない。一方、生体弁は、ワーファリンの服用は手術後の一定期間(通常は術後約3か月)のみで、それ以降は不要となる。したがって、患者負担は軽い。しかし、生体弁は機械弁と比べると長持ちしない弱点があるので、65-70歳以上が使用の目安になっている。生体弁に15年程度の耐用年数があるとすると、耐用年数内に平均寿命に達するというのが、その目安の考え方である。私の場合も、10年ほど持てば、生体弁を入れても平均寿命を超えられるとの考えからである。もちろん、再手術は可能であるが、なるべくなら受けたくない。

弁膜症が専門である外来の主治医から、70歳になるまで何とか経過観察できるように頑張りましょう、と言われることとなった。この時、60歳を過ぎたころであったので、10年近く手術を延ばせるかどうか鍵であった。できるなら、ワーファリンを一生服用しなくてよい生体弁にしたいと思っていた。

## 減塩の徹底

外来3人目の主治医は、私が脳卒中の疑いで入院したときのかつての担当医であった。時が流れ心不全専門外来を担当されていたが、7、8年前、足にむくみがあるのを見て、「もう少し減塩してください」と言われてしまった。私は、予防医学、特に循環器疾患、高血圧等の予防が専門であるので、自身の高血圧、弁膜症による浮腫への対策として、当然、減塩は実践していた。それでも、主治医より「減塩を」と言われる羽目となり、改めてその対処方法を考えることにした。

私は、学生時代から高血圧気味であったので、45歳を過ぎるころから降圧薬を服用していたが、その薬の量は投薬を受けている診療所で一番だという不名誉なレッテルを張られていた。自らかかわっていた「栄養と血圧に関する国際共同研究」の分析結果から、日本人の食塩の約43%は調味料からとられているとわかった。日本人の一日あたりの平均食塩摂取量は10g程度であるので、調味料をすべて省かないと1日5g程度にはならないと思えた。

心臓の負担を軽くするには、血圧をできるだけ下げること、減塩により水分の貯留を防ぐことであった。そこで、体重を5kg減らし(最も多い時より10kg減)、食塩摂取量を徹底して減らすために、家庭での料理には塩分を含む調味料を原則使用しないことにした。この食塩無添加食の記録を福岡大学医学部の名誉教授であり、国際高血圧学会理事長を歴任された荒川規矩男先生に言われて、「日本高血圧協会」(<http://www.ketsuatsu.net/>)のブログとして公開することとし、現在も続いている。さらに、このブログを下敷きとして、高血圧に関するミニレクチャーを加え、「ドクターうえしまの塩切り奮闘記」(写真)を出版し、多くの人の減塩の手助けになるように考えた。

食塩無添加食など悲惨なものだろうと考えていたが、杞憂であった。調味料を加えなくとも、毎日、美味しく楽しく食事ができるということがわかった。そして「塩切り料理」を始めてから7年が経過し、リバウンドせずに今日まで続いている。この間に血圧は低下し、降圧薬を減らすことができ、血圧もうまくコントロールできた。足のすねの浮腫も消失した。

この努力が、心臓の機能維持に役立ち、手術の時期を随分と引き延ばすことに貢献したようである。大動脈弁閉鎖不全による血液の逆流の程度は重度であったが、私はいつの間にか古希の70歳を遠い昔に過ぎ喜寿に近づいていた。



## | そろそろ手術をと宣告され怖気づく

食塩無添加食を6年続け、血圧の上昇を抑え、浮腫を取って心臓への負担を減らし頑張ってきたが、逆流の程度が治るわけではない。心機能の維持、心拡大の防止に努力をしてきたと言えるが、限界というものがある。心不全外来の主治医は、「もうそろそろ手術の時期です。体力のある間に手術しましょう」と告げられた。私は、食塩無添加食で血圧を下げ、浮腫を取って頑張ってきたが、すでに6年前、もう何時手術をしてもいい状態であったのだ。心臓のエコー検査で経年変化を眺めてみると、そのことはよくわかる。

しかし、私の気持ちは定まっていなかった。手術に対する漠然とした不安だけでなく、具体的な不安にもさいなまれていた(表3)。2020年6月の心エコー検査と外来受診の時に、手術時期を決めることとなったが、果たして、20年の年明けからコロナ騒ぎが生じ、私は6月の検査を延期することとした。そして、検査は9月になり、受診も9月になった。要するに、私はコロナにかこつけ結論を先送りしたのであった。

## | 手術を受ける覚悟を決める

2020年の秋の受診の時、心不全外来の担当医は、「手術の時期をいつにしますか」と単刀直入に聞いてきた。エコーの検査結果を見て「変化ありませんね、次回の受診日を予約しましょうか」といういつもの対応ではなかった。私は、覚悟を決めた。喜寿を過ぎている、これから体力も衰えて行く、主治医の助言を入れるべきと思った。

手術までの段取りを相談した。術前検査に内科で1週間の入院が必要であること、その結果を総合判断して、心臓外科を紹介するので、外来を受診してもらいます、とのことであった。

12月中に術前検査を終える入院予約をした。人生最後となるかもしれない船釣りを、十分な釣果で終えた。

不思議なことに、一旦覚悟を決めると不安感をコントロールできるように思えてきた。今年最後の釣りにも行こうと思ひ、馴染みの釣り船を予約した。

術前の精密検査入院は心臓カテーテル検査も含め1週間内に予定通り終了した。この検査入院までに、枚数は少なくしたが、年賀状の作成も済ませてしまった。年賀状の中で、1月か2月に弁膜症手術を受ける予定であるとも書いた。ブログでも公開していたが、年賀状での知らせは、その後、大学の同級生や幼友達、親戚、友人などの多くの人から連絡をもらうこととなった。皆が気遣ってくれているとわかることは、手術に立ち向かうに当たっての大きな力となった。

表3 私が持っていた手術に対する不安

| 手術に対する不安   | 内容   |
|------------|--|
| 1. 漠然としたもの | 1. 怖い<br>2. 生きて帰れないかも  |
| 2. 具体的なもの  | 1. 術後感染症が生じないか<br>2. ヘパリンによるアレルギー反応が生じないか<br>3. 腎機能が低下しないか<br>4. 術後痛くないか<br>5. 術後しんどくないか<br>6. 術後、心機能は維持できるか |

## | 術前検査と手術日程の決定

予定通り、術前検査は入院1週間以内で終わり、退院の時、心臓外科外来の受診日が年明け早々となった。心臓外科部長の外来で、いつ手術しますかと言われ、2週後の1月28日と決まった。待機患者の少ないことに驚いたが、躊躇なく最も早い日に決めた。このころには、お正月を過ぎて病気に立ち向かう気力が湧いていた。

手術方法としては、大きく分けて二通りある。一つは、胸の真ん中にある胸骨を縦に切り開いて胸を大きく開けて手術をする方法、もう一つは、肋間に10センチ足らずの切り口を作り、内視鏡下で手術をする方法である(低侵襲小切開手術)。たぶん、小切開手術で実施できるだろうとのことであったので、少しは不安感が軽減した。同じ開胸手術といっても、自分の中では、大きく胸を開くのとそうでないのとでは、随分と異なる。術後30日以内の死亡確率は、術前の検査結果から計算すると、1-4%程度であった。

## | 歩いて手術室へ、気づけば集中治療室に

手術室まで歩いて行き、左下にして横になってください、麻酔のための血管を確保します、というようなことを言われた記憶はあるが、次に気づいたときは、薄暗闇の集中治療室らしき所に寝かされ、もうろうとする中で、私の心臓の鼓動が規則正しくピーピーと音を立てながら調律されているのを聞いていた。遠くの正面の壁には時計が掛かっていたが、何時かわからない。

私は無事手術を終えたようだ。私は生きている。心臓は動いている。良かった。

しんどくはないが、息がうまくはけない。鼻腔が腫れているのだろうか、酸素マスクの酸素を鼻から吸うことはできるが、鼻からはくことができない。息をはくとき鼻腔がふさがるのである。このことを訴えたが、どうにも対処してくれないので、したがって口呼吸しか方法がなかった。これは、体を休めたいのに眠れず辛かった。鼻からの呼吸ができるようになったのは、



術後、2、3日してからになった。口が乾くので、術前に歯科の先生から教えてもらった、口腔内ゼリー(コンビニに売っている)を使って舌の乾燥、舌苔の付着を予防した。これは大いに役立った。

手術の翌朝、執刀医の部長回診があった。「手術は成功しました。良かったですね」と声かけされた。「はい、ありがとうございます」。うれしかった。午前10時には一般病棟へ移るとのことであった。手術の経過が良ければ、術後24時間以内に一般病棟に移ることもあるのだと知った。

## 術後不整脈発作に襲われる

一般病棟に帰ってきた日であったろうか、翌日であったろうか、突然に調律が乱れ心臓の鼓動が不規則に打っているのに気づいた。どうも心房細動(心房が小刻みに震え、その影響により心室の拍動が乱れる)のようだ。モニターの心電図が付いているので、看護室でもすぐにわかる。そうこうするうちに、当直担当の医師が今から電気ショックを掛けますと告げた。私は、生まれて初めて電気ショックを受けることになった。心房細動により脈が乱れると、とにかく気持ちが悪い。高級乗用車から、昔の田舎道をおんぼろバスに乗り換え走っているような感じだ。



麻酔で眠らされ電気ショックを2回受けたようだが、不整脈は戻らなかった。術後でもあったので、抗生物質の点滴に加えて、抗不整脈薬の持続点滴を受けた。幸い、心房細動が続いたのは、2日ほどであった。朝方、目を覚まして胸が静かであるのに気づいた。夜の間に消失したのだ。その後、発熱もなく、手術の痛みも1週間足らずで痛み止め不要の状態になり、術後、2週間足らずで退院となった。

退院する数日前から、廊下でよろよろと歩き始め、心臓リハビリテーションを開始した。

退院して思った。私の不安は何だったんだろう。表3にある漠然とした不安は術後には当然消失している。加えて、具体的な項目に対する不安は、何一つ問題にならなかった。痛みは耐えられる程度であったし、腎機能は低下しなかったし、発熱は術後数日間の一時的な発熱のみだった。ヘパリンのアレルギーも生じなかったばかりか、術前、術後に使用した薬剤の全てに対して、何のアレルギーも生じなかった。

## 退院後すぐに不整脈発作そして緊急再入院

退院して二日目の夜中、私は不整脈が生じているのに気づいた。気持ちが暗転した。心房細動が生じている。そし

て、心室の拍動は早鐘のごとく打っているようだ。なすすべがない。私は、不安を抱えたまま、夜の明けのを待った。想定外のことが起こっている。

朝食後すぐに心臓外科に連絡を入れたら、外来にすぐに来るようにと言われた。タクシーと新幹線を乗り継ぎ、外来に着くや否や、すぐさま車椅子に座らされた。脈拍が毎分150-160ほどあるという。それはまずい。

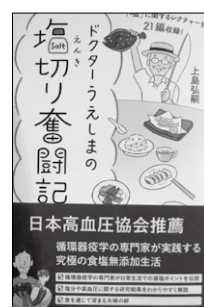
血液検査、レントゲン、心電図を取り、すぐさま緊急再入院となった。入院後ただちに電気ショックを掛けるという。前回と同じように眠らされて、病棟の処置室で電気ショックを受けた。気づいたときには、ピーピーという心電図のモニタリングの音が、規則正しく鳴っていた。今度は成功したようだ。病室に戻りほっとしたが、12時間も経たない内に、また、心房細動の状態に戻った。抗生物質と抗不整脈薬の持続点滴を受けた。二日後、世の中は平和になっていた。静かである。不整脈は治っていた。

後で見せてもらった血液検査のデータをたどってみると、心房細動が生じた時は、術後の炎症が再燃しかけていたようであった。幸いにも、抗生物質が炎症を鎮め、不整脈を消失させたようであった。

一週間の再入院の後、再び退院することができた。退院時には、経口ペニシリンを服用していたが、それが終了して再度炎症が復活しないか、気がかりであったが、幸いにも、そのような兆候は生じなかった。抗生物質の服用を止めてから10日ほど経った段階で、もう大丈夫だという思いを強くした。私は生きている!!

## 御礼

執刀医はじめ、医療チームの皆さんのおかげで今の私があります。ここに改めて、病院で働いておられるすべての人々に対して、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。さらに、コロナ禍のもとにも拘わらず、献血をしてくださった皆様に厚く感謝申し上げます。



上島弘嗣著  
「ドクターうえしまの  
塩切り奮闘記」  
定価1,500円+税  
ISBN:978-4-89775-420-8 C0047

ライフサイエンス社、2021年2月発行



## 第36回 日本心臓財団 予防賞



受賞者

ちしや き  
榑木晶子

福岡歯科大学医科歯科総合病院  
健診センター長

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に長年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは個人に贈られるものです。第36回は『心電図診断精度向上へのチャレンジと心疾患二次予防の20年』に関する実績で、榑木晶子氏が選ばれました。

第57回日本循環器病予防学会学術集会(会長:山田純生名古屋大学総合保健学教授)にて賞牌および副賞50万円が贈られることが発表されました。

## 第17回 日本心臓財団 小林太刀夫賞

受賞者

東温市「とうおん健康づくりの会」  
伊予市「いよし健康づくりの会」  
グループ

日本循環器管理研究協議会(現:日本循環器病予防学会)初代理事長の名を冠した日本心臓財団小林太刀夫賞は地域と密着して、循環器病を中心とした生活習慣病予防のために長年貢献し、生活習慣等の改善により疾病管理に実効を挙げた活動、あるいは予防のための創意工夫により将来において疾病管理の実行が期待できる活動を展開中の保健師、看護師、栄養士の個人または団体に贈られるものです。第17回受賞は『住民、行政、大学が一体となった健康づくりの展開と循環器病予防に関するエビデンスの形成』による実績で、東温市「とうおん健康づくりの会」伊予市「いよし健康づくりの会」グループが選ばれました。

第57回日本循環器病予防学会学術集会(会長:山田純生名古屋大学総合保健学教授)にて賞牌および副賞50万円が贈られることが発表されました。

## 日本心臓財団のホームページをご活用ください



### ★ インターネットによるセカンドオピニオン

患者さんやそのご家族からの心臓病に関する疑問や相談をメールで受け付け、専門医が無料でメールにて回答を返信しています。

### ★ AEDで助かる命

AEDと心肺蘇生に関する多くの情報をわかりやすく掲載しています。

### ★ スペシャルコンテンツ

#### ● 高齢者の心不全

超高齢社会により急増している高齢者の心不全について、わかりやすく解説しているサイトです。

#### ● 心臓病をよく知ろう～専門医によるビデオ講座

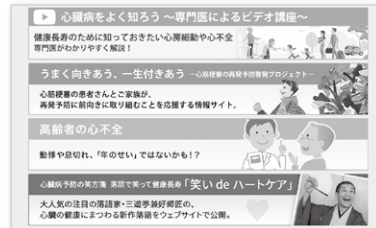
最近、高齢者に増加している不整脈、心房細動と、その心房細動や高血圧、弁膜症、心筋梗塞などにより心臓の動きが低下して起こる心不全についてビデオでわかりやすく解説しています(協力:バイエル薬品)

#### ● うまく向きあう、一生付きあう(心筋梗塞再発予防啓発プロジェクト)

心筋梗塞の患者さんとそのご家族が再発を予防するための情報をまとめたサイトです(協力:アムジェン)

#### ● 心臓病予防の笑方箋「笑い de ハートケア」

笑って健康になっていただこうと、三遊亭兼好師匠のオリジナル落語や、心臓病予防と笑いについての解説などが掲載されています(協力:エドワーズライフサイエンス)



日本心臓財団HP  
<https://www.jhf.or.jp/>



## 教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

### 教室(医局)賛助会員

北海道大学循環器内科  
札幌医科大学循環器内科  
弘前大学循環器腎臓内科  
東北大学循環器内科  
東北医科薬科大学循環器内科  
山形大学第一内科  
筑波大学循環器内科  
獨協医科大学心臓・血管内科  
獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科  
群馬大学循環器内科  
千葉大学循環器内科  
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科  
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科  
日本大学循環器内科  
帝京大学循環器内科  
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科  
日本医科大学循環器内科  
日本医科大学多摩永山病院循環器内科  
日本医科大学千葉北総病院循環器内科  
東京大学循環器内科  
順天堂大学循環器内科  
順天堂大学医学部附属静岡病院  
東京医科歯科大学循環器内科  
慶應義塾大学循環器内科  
東京医科大学循環器内科  
東京医科大学八王子医療センター循環器内科

東京慈恵会医科大学循環器内科  
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科  
東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部  
昭和大学藤が丘病院循環器内科  
東邦大学循環器内科  
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科  
杏林大学循環器内科  
横浜市立大学循環器内科  
聖マリアンナ医科大学循環器内科  
北里大学循環器内科  
東海大学循環器内科  
東海大学医学部附属八王子病院  
新潟大学循環器内科  
金沢大学循環器内科  
金沢大学心臓血管外科  
金沢医科大学循環器内科  
富山大学第二内科  
信州大学循環器内科  
浜松医科大学循環器内科  
名古屋大学循環器内科  
名古屋市立大学循環器内科  
藤田医科大学循環器内科  
三重大学循環器内科  
滋賀医科大学呼吸循環器内科  
京都大学循環器内科  
京都府立医科大学循環器・腎臓内科

関西医科大学循環器内科  
奈良県立医科大学第1内科  
大阪大学循環器内科  
大阪大学臨床遺伝子治療学  
大阪医科薬科大学内科学Ⅲ  
近畿大学奈良病院循環器内科  
神戸大学循環器内科  
神戸大学心臓血管外科  
鳥取大学循環器内科  
広島大学循環器内科  
山口大学循環器内科  
香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科  
徳島大学循環器内科  
愛媛大学循環器内科  
高知大学老年病・循環器・神経内科  
九州大学循環器内科  
福岡大学心臓血管内科  
久留米大学心臓血管内科  
佐賀大学循環器内科  
長崎大学循環器内科  
熊本大学循環器内科  
大分大学循環器内科  
宮崎大学循環器内科  
鹿児島大学心臓血管内科

### 病院(医院)賛助会員

北海道大野記念病院  
北海道社会事業協会帯広病院  
札幌中央病院  
札幌心臓血管クリニック  
札幌東徳洲会病院  
木原循環器科内科医院  
旭川リハビリテーション病院  
仙台厚生病院  
仙台循環器病センター  
本荘第一病院  
三友堂病院  
福島赤十字病院  
大原綜合病院  
国際医療福祉大学病院  
新小山市民病院  
高安内科・循環器科クリニック  
茨城県立中央病院  
慶友会慶友整形外科病院  
千栄会高瀬クリニック  
博仁会第一病院  
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院  
鶴谷病院  
蜂谷病院  
かわぐち心臓呼吸器病院  
北里大学メディカルセンター  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
さいたま市民医療センター  
深谷赤十字病院  
関越病院  
東葛病院  
板橋中央綜合病院  
江戸川病院  
関東中央病院  
榊原記念病院  
聖路加国際病院心臓血管センター  
虎の門病院  
野村病院

武蔵野赤十字病院  
東大和病院  
小田原循環器病院  
横浜南共済病院  
横浜栄共済病院  
済生会横浜市南部病院  
済生会富山病院  
富山赤十字病院  
金沢医療センター  
抱生会丸の内病院  
岐阜県総合医療センター  
澄心会岐阜ハートセンター  
慈朋会澤田病院  
松波綜合病院  
聖隷浜松病院  
市立湖西病院  
澄心会名古屋ハートセンター  
藤田医科大学ばんだね病院  
トヨタ記念病院  
伊勢赤十字病院  
近江八幡市立総合医療センター  
宇治病院  
京都桂病院  
ゆやまクリニック  
毅峰会吉田病院  
小松病院  
松下記念病院  
みどり病院  
北播磨総合医療センター  
高清水高井病院  
健全会土庫病院  
誠佑記念病院  
公立那賀病院  
新宮市立医療センター  
しげい病院  
東広島医療センター  
済生会広島病院

福山循環器病院  
県立広島病院  
JIR広島病院  
岩国医療センター  
美祢市立病院  
済生会今治病院  
今治第一病院  
市立宇和島病院  
喜多医師会病院  
近森会近森病院  
済生会福岡綜合病院  
杉循環器内科病院  
福岡記念病院  
福岡大学西新病院  
福岡新水巻病院  
小倉記念病院  
春陽会うえむら病院  
新小文字病院  
福岡青洲会病院  
ヨコクラ病院  
済生会熊本病院  
大分岡病院  
高田中央病院  
都城市郡医師会病院  
青仁会池田病院  
鹿児島市医師会病院  
鹿児島生協病院  
かりゆし会ハートライフ病院  
翔南会翔南病院

### 医師会賛助会員

日本医師会  
東京都医師会  
藤岡多野医師会  
前橋市医師会  
上尾市医師会  
葛飾区医師会

## 法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

|                    |   |                     |   |
|--------------------|---|---------------------|---|
| (五十音順)             |   |                     |   |
| 株式会社アクセル           | 様 | 住友大阪セメント株式会社        | 様 |
| 旭化成ゾールメディカル株式会社    | 様 | 住友金属鉱山株式会社          | 様 |
| アステラス製薬株式会社        | 様 | 株式会社SUMCO           | 様 |
| アストラゼネカ株式会社        | 様 | 株式会社世界貿易センタービルディング  | 様 |
| アボットメディカルジャパン合同会社  | 様 | ゼリア新薬工業株式会社         | 様 |
| アムジェン株式会社          | 様 | 第一三共株式会社            | 様 |
| 株式会社 池野商店          | 様 | 大正製薬株式会社            | 様 |
| 有限会社池野ビルメンテナンス     | 様 | ダイナメディックジャパン株式会社    | 様 |
| エドワーズライフサイエンス株式会社  | 様 | 大日本住友製薬株式会社         | 様 |
| オキシゲンアンドパートナーズ株式会社 | 様 | 武田薬品工業株式会社          | 様 |
| 小野薬品工業株式会社         | 様 | 株式会社TASLY JAPAN     | 様 |
| オムロンヘルスケア株式会社      | 様 | 田辺三菱製薬株式会社          | 様 |
| 株式会社オルリンクス製薬       | 様 | 中外製薬株式会社            | 様 |
| キヤノンメディカルシステムズ株式会社 | 様 | 帝人ファーマ株式会社          | 様 |
| 救心製薬株式会社           | 様 | テルモ株式会社             | 様 |
| 株式会社協和企画           | 様 | 東京海上日動火災保険株式会社      | 様 |
| キリンホールディングス株式会社    | 様 | 東邦亜鉛株式会社            | 様 |
| 株式会社グロースライフ        | 様 | 株式会社東横イン            | 様 |
| 興和株式会社             | 様 | トーアエイヨー株式会社         | 様 |
| サノフィ株式会社           | 様 | NISSHA株式会社          | 様 |
| 三栄メディシス株式会社        | 様 | 株式会社日清製粉グループ本社      | 様 |
| 株式会社ジェイ・エム・エス      | 様 | 日鉄鉱業株式会社            | 様 |
| 株式会社スズケン           | 様 | 日本軽金属株式会社           | 様 |
|                    |   | 日本光電工業株式会社          | 様 |
|                    |   | 日本心臓ペースメーカー友の会      | 様 |
|                    |   | 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 | 様 |
|                    |   | 日本メトロニック株式会社        | 様 |
|                    |   | 日本ライフライン株式会社        | 様 |
|                    |   | パイエル薬品株式会社          | 様 |
|                    |   | ファイザー株式会社           | 様 |
|                    |   | フクダ電子株式会社           | 様 |
|                    |   | ブルーミング中西株式会社        | 様 |
|                    |   | 古河機械金属株式会社          | 様 |
|                    |   | ボストン・サイエンティフィック     |   |
|                    |   | ジャパン株式会社            | 様 |
|                    |   | マーケット・メーカーズ・インク     | 様 |
|                    |   | 三井金属鉱業株式会社          | 様 |
|                    |   | 株式会社三井住友銀行          | 様 |
|                    |   | 三菱アルミニウム株式会社        | 様 |
|                    |   | 株式会社三菱総合研究所         | 様 |
|                    |   | 三菱電線工業株式会社          | 様 |
|                    |   | 三菱マテリアル株式会社         | 様 |
|                    |   | 明治安田生命保険相互会社        | 様 |
|                    |   | 持田製薬株式会社            | 様 |

### 当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

(2021年3月～5月) (五十音順)

犀川 哲典様 西村 重敬様

他 匿名1名

### 当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。感謝の意を表してご芳名を掲載させていただきます。

(2021年3月～5月) (五十音順)

石川 弓子様 今村 匠様 岩田 幸衛様  
 神向 文明様 後藤 又三様 小林 和子様  
 プロネスティ株式会社様 藤本 やす子様  
 前田 幸大様 前田 拓也様 山崎 正宏様  
 山野辺 教代様

他 匿名8名

#### ■セカンドオピニオンへのご寄附

野澤 貞祥様

他 匿名1名

### ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただきますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店  
普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店  
普通 4025878

■ゆうちょ銀行  
一般振替口座 00140-3-173597  
(ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュウ)店  
当座 0173597)

口座名：公益財団法人 日本心臓財団  
ザイ) ニホンシンゾウザイダン